



## 標本づくり挑戦!!

綾中学校1年生を対象にした昆虫教室は6月11日、同校体育館であり、ユネスコエコパーク推進室の木野田専門監が講師を務めました。

綾町では約1300種の昆虫が確認されています。県内の市町村では、宮崎市に次いで2番目に多い数字です。海岸線を持たない町でありながら数多くの種類の昆虫が生息しているのは、豊かな自然が守られているからです。

講座ではまず、捕虫網やたき網などの昆虫採集用具を紹介。続いて昆虫の体のつくりを説明をしました。また、かつて行われた「世界で一番きれいなチョウ比べ」で優勝したニシキツバメガというマダガスカル島のガヤ、毒のあるチョウにそっくりのメスアカムラサキなどを紹介しました。

後半は、中学1年生がグルー

プに分かれてチョウの標本づくりを行いました。まず、羽を広げるための展翅板を組み立てます。次に展翅板の上にモンシロチョウとキオビエダシヤクの羽を広げ、パラフィン紙で押さえて固定します。これを1カ月ほど乾燥させると、博物館で見られるような、羽を広げた状態で固定された標本になります。生徒たちは自然に囲まれた環境に住んでいるものの昆虫に触れる機会は少ないようので、恐るおそる羽に触れ丁寧に作業をしていました。

標本は、いつでもどこでも、だれが採集したかを記したラベルを付けると、立派な学術標本となります。標本づくり体験を生かして、夏休みに自然の中で興味のアнтиナをたくさん立てて、昆虫採集をする生徒の皆さんが増えたらとてもうれしく思います。昆虫採集の方法や昆虫

の種類など分からないことがあったらいつでもエコパーク推進室に来てくださいね!

■昆虫教室などの問い合わせ先

ユネスコエコパーク推進室

☎ 77-3482



## column

### ニホンイタチ

胴が細長く、足が短い小型のほ乳類。主に川などの水辺周辺で暮らしていて、水かきを使って上手に泳ぎます。昼夜問わず動き回り、ネズミやカエル、鳥のヒナなど小さな動物をつかまえて食べています。

敵に出合つてピンチになると、おしりの穴の周辺にある臭腺と呼ばれる器官から悪臭を出します。いわゆるイタチの最後っ屁と呼ばれるものです。

最近、人によって連れてこられたひと回り大きなチョウセンイタチが西日本で分布を広げていて、ニホンイタチは山間部に追いやられて数を減らしています。綾の森の中では落ち着いて暮らしてもらいたいですね。



### 小学5年生が田植え

綾小学校5年生は6月12日、「お米学習」の一環で田植えに挑戦しました。これは、JA綾町青年部の協力で毎年行われているもので、子どもたちは米作りを通して地元の自然の豊かさや食の大切さを学んでいます。

裸足で田んぼに入った子どもたちは、土の感触や水の冷たさに驚いた様子で、慣れない手つきながら丁寧に苗を植えていました。秋には稲刈りが行われる予定です。



### 松原公園で屋外イベント

新型コロナウイルスの感染拡大からの復興を応援するイベント「Riveryzm<sup>リバリズム</sup>」は6月13日、松原公園で行われました。若人協議会やまびこ主催。

町内の親子連れなど約400人が来場。子どもが遊べるトラクター綱引きや木工教室などがあつたほか、地元飲食店の出店や綾神楽の奉納、音楽ライブも行われ、「新しい生活様式」を守りながら思い思いに楽しんでいる様子でした。



### 水道施設を清掃

町の水道指定店7業者による水道施設での奉仕作業は、6月26日にありました。

この活動は、ライフラインである水道施設のよりよい維持管理を目的に毎年実施されているもので、今年は17人が参加。錦原配水池など町内に9カ所ある水道施設で、周辺の草刈りや貯水槽外装の洗浄などが行われました。暑い中でのボランティア活動ありがとうございました。



### 社会を明るくする運動

東諸地区保護司会綾支部(日高正光会長)は7月1日、「社会を明るくする運動」の法務大臣メッセージを粕田町長に伝達しました。また、綾中学校にタオルを寄贈するなどの啓発活動を行いました。

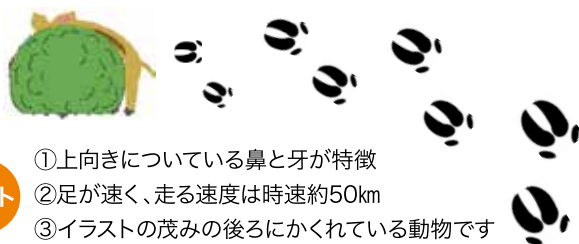
社会を明るくする運動は、すべての国民が、犯罪と非行の防止・立ち直りについて考え、それぞれの立場で力を合わせて、犯罪や非行のない地域社会を築こうという国民運動です。



### 足あとクイズ

この足あとを残す動物は何でしょう？

ニホン〇〇〇〇



ヒント

- ①上向きについている鼻と牙が特徴
- ②足が速く、走る速度は時速約50km
- ③イラストの茂みの後ろにかくれている動物です

※答えは9月号に掲載します

### 7月号のシルエットクイズの答え

コシジロヤマドリ



九州南部にのみ生息する日本固有の鳥。環境省の絶滅危惧種に指定されています。